

# 「大幹事会」

## ○青葉会々則一部改正案 ○新役員選出

去る一月二十八日に行つた総会に於ては後に祝賀会を控えていて時間的余裕がなく表頭の案件を決定するまでにいたらなかつたので、昭和五十五年二月二十九日拡大幹事会を招集、同窓会活動を機能化し、活発にするため、主として役員の数などについて改正新役員が決定されました。

ス幹事の内、常時活動に協力してくれる者

### ○新役員決定

名誉会長 杉村親一  
名誉副会長 久保道雄  
会長 石田 弘 (昭29卒)  
副会長 三代川孝子 (昭27卒)

庶務 佐々木四郎 (昭48卒)  
木田克典 (昭52卒)  
計 神崎敬子 (昭29卒)  
植木美和子 (昭46卒)

監査 矢内和明 (昭38卒)  
徳武 寛 (昭54卒)

庶務 佐々木四郎 (昭48卒)  
木田克典 (昭52卒)  
計 神崎敬子 (昭29卒)  
植木美和子 (昭46卒)

監査 矢内和明 (昭38卒)  
徳武 寛 (昭54卒)

庶務 佐々木四郎 (昭48卒)  
木田克典 (昭52卒)  
計 神崎敬子 (昭29卒)  
植木美和子 (昭46卒)

監査 矢内和明 (昭38卒)  
徳武 寛 (昭54卒)

庶務 佐々木四郎 (昭48卒)  
木田克典 (昭52卒)  
計 神崎敬子 (昭29卒)  
植木美和子 (昭46卒)

監査 矢内和明 (昭38卒)  
徳武 寛 (昭54卒)

庶務 佐々木四郎 (昭48卒)  
木田克典 (昭52卒)  
計 神崎敬子 (昭29卒)  
植木美和子 (昭46卒)

監査 矢内和明 (昭38卒)  
徳武 寛 (昭54卒)

## 毎年 青葉会総会 勤労感謝の日

会則によると総会は年一回開催することになっておりますが、今後毎年十一月二十三日の勤労感謝の日を、それと定めて行うことに役員会で決定しました。

総会の持ち方にも種々企画を練って居りますが、これを機会にクラス会、同期会、かつてのクラブのグループ会などそれぞれ予定され、総会出席かたがた久闊をいやす絶好の機会と考えていたゞれば幸甚です。幹事、世話人の方々

呼びかけ方、どうぞよろしくお願ひします。  
十一月二十三日の予定

十三時〜十五時  
青葉会総会(事業報告、会計)

中村幸子 (昭19卒)  
常任幹事 富川孝恭 (昭34卒)  
徳江義弘 (昭42卒)  
久保 勇 (昭44卒)  
米 秀助 (昭43卒)  
平田福正 (昭50卒)

○会計報告  
創立五十周年記念関係  
青葉会会計報告  
○収入の部  
記念募金及名簿広告代 八六、〇〇〇  
当日募金 一、三三四、八〇〇  
計 一、四二〇、八〇〇  
○支出の部  
祝賀会分担金 七五、〇〇〇  
(記念文庫代も含む)  
会員名簿印刷代 七三、六八  
ともがき二号 一、〇〇〇  
印刷代 五四、三六  
通信費 五四、三六  
名簿発送費  
ともがき郵送料  
雑費 一、八〇〇  
計 一、四一七、〇〇  
○差引残 一三三、八〇〇  
(經常会計に繰入)

報告、その他)  
十五時からクラス会、同期会、在学中クラブのグループ会等  
クラス会等には教室を配当、体育関係のクラブには施設の利用用具類の貸出等もを行います。

○パーティ 校舎内での飲食は出来ないで、予め外部に設置され、盛大に行つて下さい。

○問合せ 別紙青葉会役員か母校の石岡、中村両先生に照会して下さい。

母枝電話四五三一九九一

「級会」のおすすめ  
30年卒 川上 忠重

か、お尻に火がつかないと真剣に取組めない私達(青木さんも多分そうだと思う)失礼)ただだけに、先ず何はともあれ日取りの決定をしてしましました。

「自信のない仕事でも、小さな目標でよいからまず目標を立てる。」

心構えがなければとても出来る作業ではありません。しかしこうして捜し当てた時はどんなにか嬉しかったことでしょうか。

「やあしはらく」  
「こんにちは、わかる？」  
こんな会話が挨拶で集った、なつかしい顔、々々……。

卒業して初めて、二十五年振りともなると集ったクラスメイトの顔と名前が一致するかどうか、多少不安気味の受付でした。

昨春秋、母校五十周年記念式典に出席した際、私達同期生の出席は一人だけという寂しい状態でした。

その折、久しぶりにお目にかかった長谷川先生がクラス会をしたらとおっしゃって下さったことに、卒業して只の一度もクラス会の機会を持たなかったことに深く反省した次第でした。

クラスメイトの住所も四半世紀も時の流れに殆んどが分らず、さぞかし大変であろうと思ひながら、それでも私と相棒(青木さん)は努力する約束をした次第です。

多かたのことがそうであるように、明確な目標を持つと

小さな目標はその上の目標にと拡大再生産を忘れるな。」  
平素仕事で云っている口癖を先ず自分に云い聞かせ青木さんと二人で友人捜し……。

小さな目標十五・六人、これすら心配しながらのスタート。私は狡いので何とか住所の分かる一、三人に電話をしてその人達からたどってゆく調子よき……。

私と比べ青木さんの活躍には頭が下つたのです。裏面目で何事にも真正面から取組み、根気よくコツコツと努力する青木さん(だ)ということが始めてわかつた)が小さな目標を倍増計画に進展させた経緯を、に御紹介致します。

なにせ二十五年という歳月、地番変更、移転、結婚、転職、転勤、あるいはやりの蒸発やら夜逃げもあるかも……。

そこで先ず卒業時の住所から区役所に連絡し移転先を確認、移転先の区役所から聞いて又移転先へ。稼き先から更に転勤先へ……。

母校を思わぬ人、師を、友を、思わぬ人はいないでしょう。ただ卒業して日常の茶飯事に追われていると、懐かしさかと思つても自分の生活の中に交流として生かせないもので、私はつくづく感じました。

人の財産は人、知った世界は失わず限りなく広めたいと。友からの一通の手紙や、母校の今ある姿が、どれほど心を暖めてくれるかということ。

世の中がいかに変わると、過ぎし日のなつかしく、美しい、心の中の変らぬもの大切さを。

「○×さんが分つたわよ」  
と声を弾ませて居るのに、本当に感激や、女の執念や、良き相棒であることの感謝や一緒くたに感じたものです。

青木さん、本当に有難度う。当日、心配していた「顔と名前的一致」もスムーズであつたことは、二十五年の味わいのあるシワが一、二本増えていただけで皆たいして変わったいなかったと云うこと。太めの人も気にならなかつた云うことは、以前から太かつたせい。癖まで変らず、二十五年間もズーと同じ癖で通している根気よさに感心したり懐かしくなつたりして思わずニヤニヤ。

しかし何と云つても、長谷川先生の含蓄あるお言葉には心しむじみ致し、一瞬胸が熱くなりました。

この級会を通して私達は初めて若葉会に提出出来る、未完ながらも名簿を作ることが出来た訳です。

私の思うこと  
母校を思わぬ人、師を、友を、思わぬ人はいないでしょう。ただ卒業して日常の茶飯事に追われていると、懐かしさかと思つても自分の生活の中に交流として生かせないもので、私はつくづく感じました。

三田高を卒業して十六年余新たに思い起す当時のイメージは、現状この余りに大きい変容にその差を驚くばかりが事実でした。幹事として依頼を受け同窓会の動きが活発になつた頃我々がクラスメイトからも併せてクラス会も行つたらとの声も出。

この忙がしいのに分けて幹事を受けていたらそれを商売上つたりになってしまふ。どうせなら同時に行う方が合理的だ、そう考へて始めたものの住所調べ、旧姓との確認、これ等でかなりの他の仕事があつた。

影響を受けた事は云うまでもない。従つて遅々として日々を過す内クラス会兼同窓会の当日は間違いなくやってきました。

女子系の学校故女子(敢えて云う)のクラスメイトが多い訳でステイジセットが大変だつた。何しろろ雑々な事を考へないとい投書が来る位なのである。とにかく安くて、ゆくり出来て、学校に近くて、料理は美味しく、店の従業員のマナーが良い事等を全部マスターしておく必要があつた。

同窓会当日は司会もした為か、気分が良くマイクも自由だつた。

私にセツトした「クラス会」  
38年卒 矢内和明

私達三十年卒業生は二十五年の空白の歳月を飛越してこれからますます友情を育ててゆくことでしょう。

先ず「第一歩はクラス会。」  
私達三十年卒業生は二十五年の空白の歳月を飛越してこれからますます友情を育ててゆくことでしょう。

同窓生に心からのオセッカイの進言を致したいと思ひます。一度少人数からやってみたら誰れかがエンジンをかければと誰れもが思っているのではよ。それがあなたであることに気付かずに。母校青葉会の発展の爲にも、しっかりと

した名簿が必要であり、小さなまとまりが人々くなくなつて青葉会もより活発になることでしょう。

先ず「第一歩はクラス会。」  
私達三十年卒業生は二十五年の空白の歳月を飛越してこれからますます友情を育ててゆくことでしょう。